

◆科学技術の最前線

主 題 文部科学省の「研究力大学強化促進事業」、「スーパーグローバル大学創成支援事業」に選定されている岡山大学は、大学の「研究の質」を測るTop10%補正論文数（2009年～13年 同省科学技術・学術政策研究所発表）の伸び率でも全国の大学中第2位と注目されています。

この講座では、国際機関、政府機関、海外大学との共同研究など、国内外で活躍されている先生方から、環境・生命に関わる選りすぐりの研究を紹介いたします。

講座番号 ③-10

時 間：午後6時30分～8時30分

場 所：築地社会教育会館

回 数：4回

受講料：1,200円

定 員：60名

回数	日程	講 義 内 容	講 師 名
第1回	11/ 4 (金)	腸内フローラによる俯瞰的ヒト健康評価 ～ご自身の腸内フローラを見てみませんか！～	森田 英利
第2回	11/11 (金)	環境と命を考える ～水俣病や大気汚染の疫学研究を通して～	頼藤 貴志
第3回	11/18 (金)	インフラストラクチャーの劣化 ～産業副産物による超耐久化～	綾野 克紀
第4回	11/25 (金)	稲のミネラル吸収と分配の仕組み ～土壌から米へ～	山地 直樹

講 師 紹 介

森田 英利 (もりた ひでとし)

岡山大学大学院環境生命科学研究科教授。1963年生まれ。1991年岡山大学大学院自然科学研究科博士後期課程修了（学術博士）。乳酸菌・ビフィズス菌のゲノム解析によりプロバイオティクス効果や生体影響を解明している。また、腸内フローラと生体影響の研究によりNature誌やCell誌に掲載論文がある。NHK「あさイチ」、フジテレビ「その原因腸にあり!」に出演。現在、内閣府消費者委員会新開発食品調査会新開発食品評価第二調査会委員（いわゆる、トクホの機能性評価委員）。

頼藤 貴志 (よりふじ たかし)

岡山大学大学院環境生命科学研究科准教授。1977年生まれ。岡山大学博士（医学）。環境疫学、小児周産期疫学が専門。大学時代より胎児性水俣病患者と交流、現在も毎月水俣に通う。ヨーロッパ環境局より依頼を受け、水俣病の教訓について執筆。また、大気汚染と発がんの関係を評価する疫学部会メンバーとして世界保健機構（WHO）の報告書作成に貢献。NHKクローズアップ現代（2015年6月）「“病の姿”が見えない ～新潟水俣病の50年～」に出演。

綾野 克紀 (あやの としき)

岡山大学大学院環境生命科学研究科教授。1964年生まれ。1989年岡山大学大学院修了。1995年学術振興会特定国派遣研究員としてスイス連邦工科大学に1年間留学。コンクリートの乾燥収縮ひずみ、セメントを使わないコンクリートなどで、多くの学会賞を受賞。現在、内閣府戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）「インフラ維持管理・更新・マネジメント技術」に研究課題が採択され、研究代表者を務める。

山地 直樹 (やまじ なおき)

岡山大学資源植物科学研究所准教授。1977年生まれ。2005年香川大学大学院修了。博士（農学）。植物が土壌中の無機栄養素（ミネラル）を吸収・分配して生育する仕組み、土壌環境のミネラル過不足に対処する仕組みを研究している。イネなどの節（せつ）が栄養素の分配に重要な役割を担うことを明らかにしてきた。2015年トムソン・ロイター社“高被引用論文著者”に選出、岡山大学若手トップリサーチャー研究奨励賞受賞。



岡山大学構内のいちよう並木と時計台